

授業科目	医学概論	配当年次	1年	必修選択	選択
		開講期	前期	講義形態	講義
		単位数	2	授業回数	15
担当教員	眞岡 知央			ナンバリング	SO-CE 1501
				履修人数	制限あり
				区分	
授業概要	近年医学・医療の進歩・発展は著しく、専門分化がより進み、様々な職種の人々が医療に携わるようになってきています。そのため医学・医療の全体像を完全に把握することは困難になってきていますが、多くの医療関係者がもつ共通認識や、現代医療における問題点などを理解することを目標に、身近な事例なども踏まえながら皆さんと一緒に考察して行きます。				
到達目標	① 医学・医療全般に対するイメージをそれぞれ持つことができる。 ② 実際の医療と向き合ったとき、考え方の基礎となる知識を身につける。 ③ 現代医療における問題点について意識することができ、それらを改善して行くためにはどうしたら良いか、考察することができる。 この科目は学科のディプロマ・ポリシー〔音楽学科5、美術学科4、地域社会学科4〕に対応しています。				
授業計画	1週	身体におけるホメオスターシス			
	2週	循環・呼吸器系の形態と機能			
	3週	消化器系の形態と機能、栄養と代謝			
	4週	生体の防衛機構			
	5週	生活習慣病			
	6週	タバコの害			
	7週	アルコールの功罪			
	8週	ストレス			
	9週	日本の医療制度①			
	10週	日本の医療制度②			
	11週	全人的医療とチーム医療			
	12週	少子高齢化社会が抱える問題			
	13週	地域医療、救急医療、医療安全など			
	14週	ターミナル医療			
	15週	全体のまとめ、フィードバック等			
成績評価方法・基準	毎回の授業内で行う小テストの合計点が、全講義終了時点で総点数の6割以上で合格。				
教科書等	なし。授業内でノート(解説文)付きのスライドを共有します。				
参考書 参考資料	なし。授業内で指示します。				
クラスコード	r75jcxk				
授業科目に関連した実務経験のある教員の配置の有無	この科目は、医療現場に携わる実務経験のある教員が、実践的教育を行っています。				
予習・復習の具体的な内容 とそれに必要な時間	授業前には、興味のある分野についてインターネットや書籍で情報を集めるなどしてみてください。授業後は、疑問点を明確にし、箇条書きにするなどして整理し、次回授業後に質問してみてください。 2時間から3時間程度/週				
受講時の注意事項と アクティブ・ラーニング情報	授業は基本的に講義形式で行いますが、フォームやメールからの質問を受け付けます。授業内に前回の授業で実施した小テストのフィードバックを行います。 この科目は、オンライン・オンデマンド方式で実施します。				

授業科目	障がい児教育	配当年次	1年	必修選択	選択
		開講期	前期	講義形態	講義
		単位数	2	授業回数	15
担当教員	今井 常晶			ナンバリング	SO-CE 1401
				履修人数	制限あり
				区分	
授業概要	障害に対する基本的知識や正しい理解を習得し、障害児を取り巻く支援体制について理解する。				
到達目標	障害に対する基本的知識やその支援体制について説明できる。 この科目は学科のディプロマ・ポリシー〔音楽学科5、美術学科4、地域社会学科4〕に対応しています。				
授業計画	1週 オリエンテーション				
	2週 特別支援教育の現状				
	3週 視覚障害の理解				
	4週 聴覚障害の理解				
	5週 知的障害の理解				
	6週 言語障害の理解				
	7週 肢体不自由の理解				
	8週 重症心身障害の理解				
	9週 自閉症スペクトラム(ASD)の理解				
	10週 注意欠陥多動性障害(ADHD)の理解				
	11週 学習障害(LD)の理解				
	12週 病気療養の理解				
	13週 障害の発見－乳幼児検診の実際－				
	14週 発達障害とは				
	15週 まとめと授業内試験(筆記)				
成績評価方法・基準	授業内試験(筆記)80%、平常点20%(感染状況の拡大次第で、レポート課題となることがある)				
教科書ソフト等	なし。授業内で毎回資料を配付します。				
参考書参考資料	『インクルージョン時代の障害理解と生涯発達支援』東京学芸大学特別支援科学講座編 日本文化科学社				
クラスコード	xqinzjk				
授業科目に関連した実務経験のある教員の配置の有無	この科目は発達障害児への発達支援の実務経験のある教員が実践的教育を行っています。				
予習・復習の具体的な内容とそれに必要な時間	前回までの授業内容や資料をしっかりと復習し、質問されても答えられるようにしておくこと。 2時間から3時間程度/週				
受講時の注意事項とアクティブ・ラーニング情報	新聞等に掲載される障害に関する記事を読んでおくことが望ましい。 授業内試験について問い合わせがあれば、模範解答について開示する。				

授業科目	仏教人間学	配当年次	1年	必修選択	選択
		開講期	後期	講義形態	講義
		単位数	2	授業回数	15
担当教員	宮本 浩尊			ナンバリング	SO-CE 1002
				履修人数	制限あり
				区分	
授業概要	この授業では、「建学の精神と大谷学」で学んだ仏教思想について、さらに詳細に学びます。 仏教は、地域と時代を超えて、「人間(私たち)」にとっての大切な事柄を伝え続けてきました。「人間(私たち)」の抱える根源的な問題性とは何か。この問いについて、仏教思想を学びながら考え、私たちが現代社会をより良く生きるためのヒントをつかんで欲しいと思います。				
到達目標	① 「建学の精神と大谷学」で学んだ仏教思想をより深く理解することができる。 ② 仏教が示す人間像を学ぶことを通して、人間存在について考えることができる。 ③ 宗祖親鸞聖人の担った課題を学ぶことを通して、自己を見つめ直すことができる。 この科目は学科のディプロマ・ポリシー〔音楽学科1、美術学科4、地域社会学科1〕に対応しています。				
授業計画	1週	ガイダンス(授業内容、目的、計画、評価方法の確認等)			
	2週	釈尊伝(釈尊の課題)			
	3週	釈尊の思想① 縁起思想			
	4週	釈尊の思想② 四聖諦と八正道			
	5週	釈尊の弟子達の時代			
	6週	大学報恩講(中止の時の対応はガイダンスで指示する)			
	7週	全ての存在を救うということ(大乘經典の思想)			
	8週	人間の判断基準を超える(龍樹の空思想)			
	9週	中国への仏教伝来(翻訳作業と初期の中国仏教)			
	10週	中国仏教概論			
	11週	日本への仏教伝来(飛鳥時代から奈良時代の仏教)			
	12週	日本仏教の幕開け(平安時代の仏教)			
	13週	日本仏教の展開(鎌倉時代の仏教)			
	14週	親鸞の思想			
	15週	授業内試験			
成績評価方法・基準	平常点(出席・課題の提出等)50%、授業内試験50%				
教科書ソフト等	なし。適宜、プリントやスライドで対応する。				
参考書参考資料	なし。適宜、授業内で指示する。				
クラスコード	zalfn3d				
授業科目に関連した実務経験のある教員の配置の有無	この科目は、真宗大谷派僧侶として実務経験のある教員が実践的教育を行っています。				
予習・復習の具体的な内容とそれに必要な時間	講義ノートの内容を整理して、復習ノートを作成する。 1時間から2時間程度/週				
受講時の注意事項とアクティブ・ラーニング情報	考える姿勢を身につける。単に「わからない」で終わらせるのではなく「何がわからないのか」を考える習慣を身につけ、それを表現できるようになってほしい。 この科目は、オンライン・オンデマンド方式で実施します。				

授業科目	介護概論	配当年次	3年	必修選択	選択
		開講期	後期	講義形態	講義
		単位数	2	授業回数	15
担当教員	本間 美幸			ナンバリング	SOU_CGE3023
				履修人数	制限あり
				区 分	
授業概要	少子高齢社会といわれる現代では、介護を必要とする人の増加を背景に「介護」に関連する課題が数多く問われています。「介護」とはそもそもどういうことを言うのでしょうか。介護および介護福祉の概念・理念から、授業をスタートさせます。それらを踏まえて、介護福祉サービスを提供するための基本的な考え方と技法まで学び、介護を必要とする方のニーズに沿った援助について考えていきます。				
到達目標	① 介護・介護福祉についての基本的知識を身につける。 ② 介護を取り巻く状況について、社会情勢と関連付けて考えることができる。 ③ 介護を必要とする人の尊厳の保持と自立支援の重要性を理解する。 この科目は学科のディプロマ・ポリシー〔音楽学科1、美術学科4、地域社会学科1〕に対応しています。				
授業計画	1週	授業ガイダンス～介護とは何か			
	2週	介護を必要とする人の理解			
	3週	介護が必要な人と家族のための制度			
	4週	介護が展開される場			
	5週	認知症高齢者ケア①認知症の理解			
	6週	認知症高齢者ケア②適切な関わり方			
	7週	介護援助の基本① コミュニケーション			
	8週	介護援助の基本② 社会的な生活の支援			
	9週	介護援助の基本③ 日常生活の支援			
	10週	介護援助の基本④ 食べるを支援			
	11週	介護援助の基本⑤ 排泄の支援			
	12週	介護福祉における倫理			
	13週	尊厳を支える介護			
	14週	介護福祉の今日的課題			
	15週	授業内試験とまとめ			
成績評価方法・基準	授業内試験50%、平常点30%、毎回のリアクションペーパー20%				
教科書ソフト等	なし。授業内で適宜、資料を配付します。				
参考書参考資料	なし。授業内で指示します。				
クラスコード	h4ygoix				
授業科目に関連した実務経験のある教員の配置の有無	この科目は、社会福祉の現場に携わる実務経験のある教員が、実践的教育を行っています。				
予習・復習の具体的な内容とそれに必要な時間	授業内で配付した資料を活用して講義内容をまとめて予習・復習してください。 1時間程度/週				
受講時の注意事項とアクティブ・ラーニング情報	特に予備知識は必要としませんが、日頃から社会情勢に興味関心を持つことを期待します。また、提示された問いについて自身で考え、発言や質問など積極的な受講姿勢を求めます。 リアクションペーパーの内容を翌週の授業でフィードバックし、学びを深めていきます。				

授業科目	教育実地研究	配当年次	4年	必修選択	選択
		開講期	通年	講義形態	実習
		単位数	4	授業回数	—
担当教員	萬 司、平向 功一	ナンバリング		TEP4024	
		履修人数		制限あり	
		区 分			
授業概要	教育実地研究(教育実習)はこれまで履修してきた教職課程の集大成であり、実践として学校現場で学ぶ貴重な機会でもある。これまでの学習成果を活用し、教科指導や学級指導などについて基礎的な指導技術を身に付ける。真摯な態度で実習にのぞむことが求められ、実習期間は3週間 120時間を標準とする。				
到達目標	① 学校経営、教科や学級の運営、教員の諸業務を理解することができる。 ② 教科指導や学級指導を実践し改善を図ることができる。 ③ 教科教育の基礎的な指導方法を身に付けることができる。				
授業計画	実習期間は3週間 120時間を標準とし、実習内容は次が考えられる。				
	① 学校経営の方針、運営計画、校務分掌などの理解(校長、教務主任、生徒指導部長等による)				
	② 指導担当教員監督下での教科指導(授業観察や参加、指導体験など)				
	③ 研究授業での実践(担当教科)				
	④ 指導担当教員監督下での学級指導(朝・帰りのSHR、昼食・給食、清掃など)				
	⑤ 教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間などの授業観察や参加				
	※註 高等学校に道徳の時間は時間割に位置づけられない。				
	⑥ 実習中に実施される行事などの観察や参加				
	⑦ 教員の諸業務の体験				
	⑧ 部活動の指導の体験				
	⑨ 実習日誌の記入と整理、実習の振り返り				
	⑩ 大学教員による指導・助言				
成績評価方法・基準	実習の状況70%、研究授業の学習指導案またはレポート15%、実習日誌の内容15%				
教科書ソフト等	実習校の校種に応じた学習指導要領とその解説編、実習校から指定された教科書など				
参考書参考資料	なし。授業内で指示します。				
クラスコード	mnbifzl				
授業科目に関連した実務経験のある教員の配置の有無	有： 中学校学習指導要領解説 音楽編(平成20年9月)作成協力者				
予習・復習の具体的な内容とそれに必要な時間	実習前の確認を十分行い、担当教科や学級・学年の指導計画を把握して準備してください。実習中の授業内容が指示された場合は、学習指導案をあらかじめ用意してください。 実習前に事前確認及び準備をする時間を確保してください				
受講時の注意事項とアクティブ・ラーニング情報	「教育実習事前事後指導」の事前指導を欠席した場合は教育実地研究は原則実施できません。同様に事後指導も必ず受講してください。				

授業科目	介護等体験	配当年次	3年	必修選択	選択	
		開講期	通年	講義形態	演習	
		単位数	1	授業回数	—	
担当教員	二通 諭				ナンバリング	TEP3026
					履修人数	制限あり
					区 分	
授業概要	教職履修者には福祉施設で5日間、特別支援学校で2日間の体験が求められる。高齢者や障がいのある人々との出会いを通じて、みなさんに人間ひとりひとりの尊厳を重んじる態度を養ってもらおう。またこのような態度の育成は、教職をめざす者にとって、子ども一人ひとりの多様な人間性を認めることにもつながる。7回の講義を受講した後、福祉施設と特別支援学校での実地体験が行われる。					
到達目標	介護等体験の基礎的な知識や心構えの修得をめざす。 人間一人ひとりの尊厳を重んじる立場を身につける。					
授業計画	1週	教職課程における介護等体験の意義				
	2週	実習に関わる諸注意と実習日誌の書き方(諸注意、実習の出勤・退勤、実習中の態度・服装・緊急時の対応・実習後の対応など心構え実習日誌の書き方、概要・一日の流れ・感想)				
	3週	社会福祉施設における体験学習の講義① 高齢者・障がい者福祉施設の現状と課題(福祉施設の種類及びそれぞれの役割)				
	4週	社会福祉施設における体験学習の講義② 福祉現場の現状と実習生に求められるもの(福祉施設関係者あるいは研究者を招き、施設の実状等を講義)				
	5週	社会福祉施設における体験学習の講義③ 実習へ向けての心構え(実習時に特に気をつけるべき点:車いす、食事介助などを講義)				
	6週	特別支援学校における体験学習の講義④ 特別支援教育の現状と課題(特別支援学校の役割、発達障害など)				
	7週	特別支援学校における体験学習の講義⑤ 特別支援教育の現状と実習生に求められるもの(特別支援学校関係者あるいは研究者を招き、特別支援学校の実状等を講義)				
	8週	事後指導 ①高齢者と障がいを有する子どもとの関わりから学んだこと、②介護等体験を通して学んだことを教職にどう活かすか ディスカッションおよび事後レポート作成				
成績評価方法・基準	実習施設・実習校の評価50%、講義中のレポート30%、事後レポート20%					
教科書等	『フィリア』THE EARTH 教育新社、『よくわかる社会福祉施設』全国社会福祉協議会					
参考書参考資料	授業内で適宜、資料を配付します。					
クラスコード	z7uxlaw					
授業科目に関連した実務経験のある教員の配置の有無	(公立小学校20年、同中学校15年にわたり特別支援学級教員。そのうち地域連携型特別支援教育コーディネーター歴7年)					
予習・復習の具体的な内容とそれに必要な時間	実習先との連絡・調整等は早めに確実にすること。				1時間程度/週	
受講時の注意事項とアクティブ・ラーニング情報	7回の講義を欠席した者には実地体験を行わせない。 レポート未提出者は、単位認定しない。					